

# 令和8年度 研究構想図

学校教育目標

挑戦～仲間・家庭・地域とつくる～

## 研究主題

自ら考え、仲間とともに学び合う児童の育成  
～ 学習基盤の定着と伝え合いの充実を通して ～

## 仮説

学習基盤の定着を図りながら、言語活動を関連付けた伝え合う場を意図的に設定すれば、児童は自ら考え、仲間とともに学び合う力を高めることができるであろう。

## めざす子供の姿へのアプローチ

### ① 学習基盤の定着

- ・視写の実施
- ・音読指導
- ・叙述を基にした読み取りの徹底
- ・要点把握・要約の指導
- ・「自分の考えとの比較」を位置付けた読み
- ・複数資料を関連付けて読む活動

### ② 伝え合う活動の充実

- ・学習意欲を高める学習課題の工夫
- ・目的や視点を明確にしたペア・グループ交流
- ・考えの違いを生かした対話活動の設定
- ・「なぜ」「どのように」を問う発問の工夫
- ・ICTを活用した意見共有

## 安心して学べる学習環境づくり

- ・「めあて・学習課題、学習の流れ、振り返り」において、児童の思考を想定した授業の構築
- ・学習用具の明確化
- ・考えや学びを整理するノート指導
- ・児童の実態に応じた意図的な学習形態、グループ・ペアづくり

## 【研究の方法】

- ①視点を焦点化した授業研究
- ②理論研修
  - ・学習基盤の定着を図る指導の工夫に関する研修
  - ・伝え合う活動の充実に関する研修
  - ・ユニバーサルデザインの手法を生かした指導法

## 【検証の方法】

- ①アンケート分析（児童・教職員）
- ②単元末テスト・CRT分析